

授業科目名 (講義題目)	パブリック・マネジメント		開講学期 単位数	前期集中 2単位
担当教員	上山 信一 伊関 友伸 戸田 香 松原 真倫	講義コード	科目区分 対象学生	選択 1・2年生
		17176017		
開講予定日	①② 8/8 ③④ 8/24 ⑤ 8/25 ⑥⑦ 8/26 ⑧⑨ 8/27 ⑩⑪ 9/3 ⑫⑬⑭ 9/10 ⑮ 9/12			
履修条件	この授業は広く公務員、議員、NPO、市民運動、企業関係者の皆さんが政府や政策との関わり方を考えるためのものです。 予備知識は特に必要ありません。但し指定された必読文献は必ず事前に読んできて下さい。読了を前提に討議を行います。	キーワード	行政経営、行政評価、民営化、PPP (パブリック・プライベート・パートナーシップ)	
全体の教育 目標	・ 行政改革と企業改革の違いを知る。 ・ これからの官と民、公と私のあり方について各自がしっかりとした意見を持てるようにする。	個別の学習 目標	・ 行政機関に経営学をいかに応用するかを学ぶ。 ・ 政府と企業とNPOのあり方について幅広い視野と洞察を得る。	

授業の概要	第1部 (1～5回) では、政府を中心とするわが国の公共セクターが抱える課題を概観したあと行政機関を経営の視点から分析・評価し、経営改革する方法を考察します。また、民主主義と財政問題を考え、また実際の改革事例について討議します。 第2部 (6～9回) では、政府と民間の役割分担、さらに市民参画のあり方について手法を理論を学びます。 第3部 (10～15回) では、さらに具体の事例を交えながら、より大きな視点から官僚制の問題や社会保障のあり方について考えます。
授業の進め方	必ず必読文献を読んできて下さい。それに基づき主な論点を中心に講義します。 グループディスカッション、演習も組み合わせます。 全体に事例分析を多用します。
教科書および参考図書	開講時までに事前必読文献は読了してきてください。読了を前提に話を進めます。 さらに毎回の参考文献もなるべく読んできて下さい。
試験・成績評価の方法等	出席が必須。成績は出席、授業への参加貢献度合い、レポートの結果を総合的に勘案して決定。3コマ以上欠席した場合、単位は認定しません。また、単位認定のためには、欠席したすべての回について、別途レポート提出 (2000～5000字程度) が必要となります (具体的には各講師が指示)。